

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

香川県さぬき市 さぬき市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	23	対象	ド透訓	救 臨 感 へ 災 輪
人口 (人)	建物面積 (㎡)	不採算地区病院	看護配置	
48,868	14,884	非該当	7 : 1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

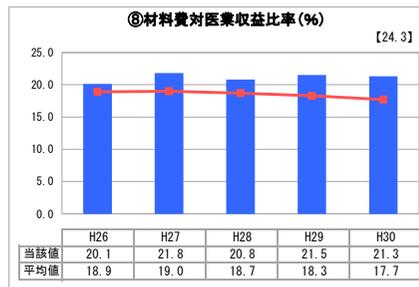
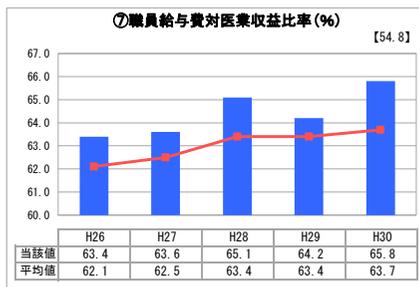
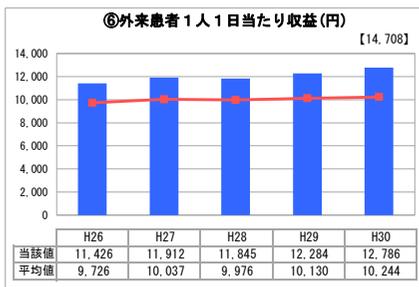
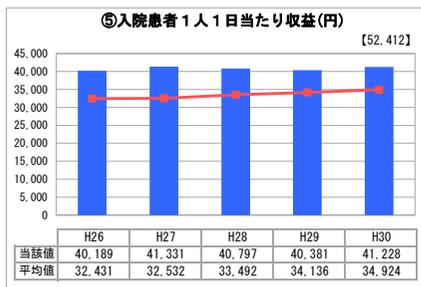
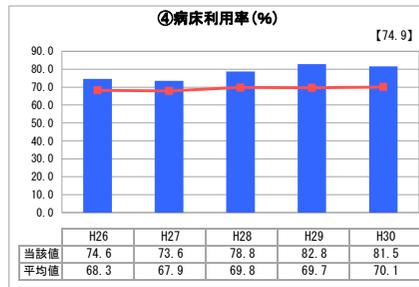
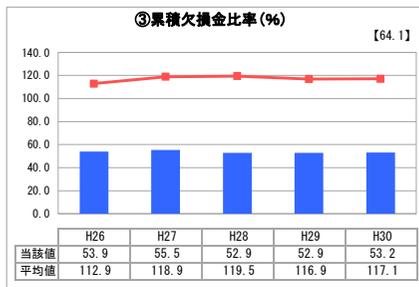
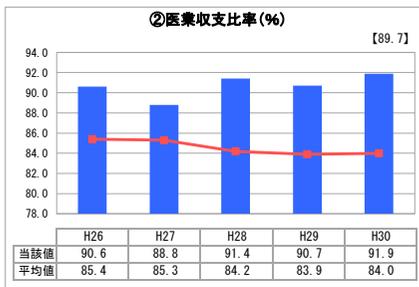
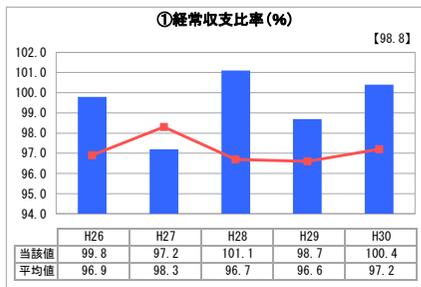
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
175	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	179
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
166	-	166

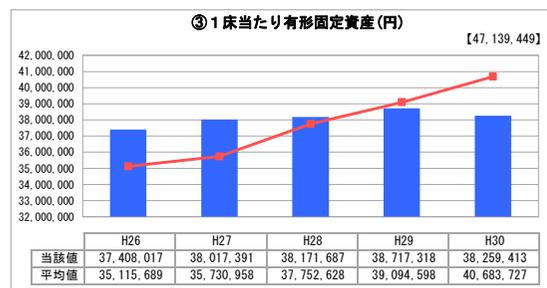
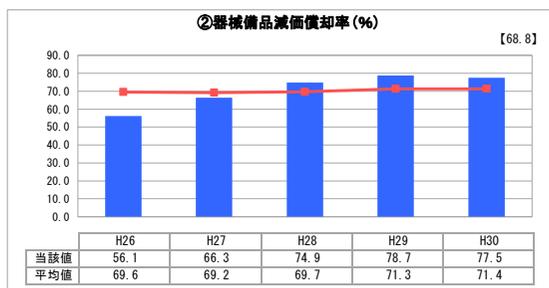
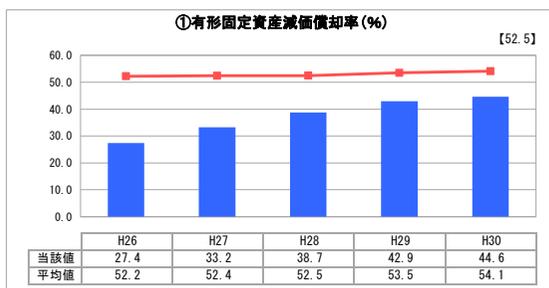
**グラフ凡例**

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
平成22年度	-年度	-年度

## I 地域において担っている役割

地域の中核病院として、救急医療や小児医療、感染症医療、災害医療、周産期医療などの政策的医療を提供し、他の医療機関では担えない役割を担っている。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

平成30年度は、前年度に比べ医業収支が良好であり、経常損益としては純利益を計上した。しかしながら、老朽化した職員住宅を急遽解体しなければならなくなったことで、解体に伴う資産の除却に係る費用を特別損失として計上したため、最終的には赤字決算となった。今後については、職員給与と材料費の対医業収支比率が平均値を上回っていることから、引き続き、中長期的な増収策を検討していくとともに、計画的な職員採用による人件費の削減、既存の医療資源の有効活用などによる諸費用の抑制などを行っていくことで経営の健全を図る。

### 2. 老朽化の状況について

平成23年度に新病院建設に伴う医療器械等への投資を行ったため、これにより毎年度、多額の減価償却費を計上していたが、平成29年度末をもって一定の償却を終了した。しかしながら、今後には、減価償却を終えた高額機器等を順次更新していかなければならず、多額の投資が必要となる。とりわけ、次年度には、電子カルテシステムの更新を予定している。

## 全体総括

医療圏域内の人口の減少もあり、入院患者と外来患者の減少が見受けられるが、引き続き、平成28年度に策定した第3次さぬき市民病院改革プラン（平成28年度～令和2年度）に基づき、収支のバランスがとれるよう収益の確保や費用の削減を図るなどの健全化策を実行していく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。